

伝国の杜 こども狂言クラブの一年



「中間発表会」

平成 26 年 1 月 26 日（日）

伝国の杜こども狂言クラブは、平成 26 年 1 月 26 日（日）に中間発表会を行いました。中間発表会とは、仲間の前で演じることで度胸を試し、3 月に予定されている「春休み発表会」に向けての残りの課題を明らかにするための機会として、昨年度から行っているクラブ内での発表会です。

山下浩一郎先生の指導のもと、平成 25 年 4 月から習っている狂言・小舞の演目を能舞台で披露し、全クラスの現状を見せ合い、残りの稽古期間の方針を確認しました。

◆小舞「七つ子」



小学生 1 名、中学生 1 名の女の子が舞いました。これまでの稽古の成果を披露しました。

◆狂言「仏師」



中学生 1 名、高校生 1 名の男子が演じました。お面をつけて演じるため、視野に注意ながら演じました。

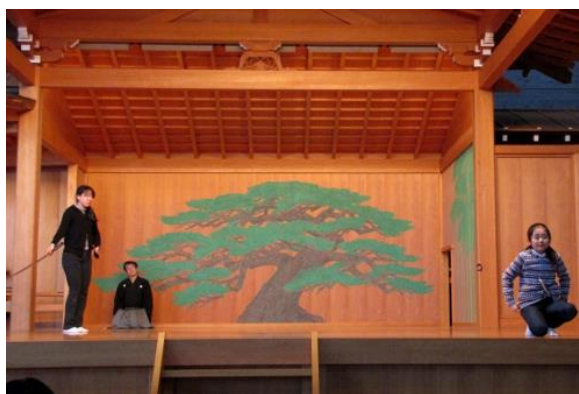
◆小舞「宇治の晒」



小学生の男子1名、女子1名が一人ずつ舞を披露し、謡を山下先生と一緒にうたいました。

これまで稽古してきた舞をしっかりとおさらいしました。

◆狂言「盆山」



小学生1名、中学生1名の女子が演じました。

◆狂言「仏師」



中学生の男子1名、女子1名が演じました。

演者を変えて、狂言「仏師」の稽古です。



◆狂言「鐘の音」



最後は「鐘の音」です。高校生の男子1名が演じました。

これまでの一人稽古を通して、完成度の高い狂言を披露しました。



2月には、「上杉雪灯籠まつり」での発表会が予定されています。演目は狂言「盆山」に決まりました。3月の春分の日には、平成25年度の一年間の活動の成果披露の場として、「春休み発表会」が開催される予定です。

平成25年度の稽古を毎回取材させて頂き、稽古のたびに、子どもたちの成長や、狂言の面白さに刺激を受けました。子どもたちの稽古風景を数多く写真に撮らせていただく中で、カメラを向けても堂々とした子どもたちの姿を見ると、立派な「狂言役者」だと思いました。

この狂言クラブの活動によって、子どもたちが楽しみながら成長し、今後も狂言という文化が、受け継がれていくことを期待します。

○取材日 平成26年1月26日（日）

場所：伝国の杜・能舞台

○写真提供 公益財団法人米沢上杉文化振興財団 伝国の杜・置賜文化ホール

○取材協力 伝国の杜こども狂言クラブのみなさん

指導者 和泉流狂言師 山下浩一郎先生

公益財団法人米沢上杉文化振興財団 伝国の杜・置賜文化ホール

○執筆編集 置賜文化フォーラム編集員 佐藤道代